

国立国語研究所学術情報リポジトリ

ビジネス文書における「カッコ」の使われ方

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-08-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岩崎, 拓也 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003617

ビジネス文書における「カッコ」の使い方

特任助教（人文知コミュニケーション）

岩崎 拓也（いわさきたくや）

一口に「カッコ」といっても、日本語ではいろいろなカッコが使われています。では、カッコの種類によってその中の表現は変わるのでしょうか？

表1 発注文書の件名で使われやすいカッコ

	件名		書き言葉コーパス (BCCWJ)	
	頻度	%	頻度	%
【	26269	30.9%	86	0.4%
】	26210	30.9%	86	0.4%
(11110	13.1%	4223	20.4%
)	11071	13.0%	4307	20.8%
「	3284	3.9%	5148	24.9%
」	3279	3.9%	5150	24.9%

現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) のカッコの頻度と割合と比較したところ、ビジネス文書では、偶付カッコ【】の使用が特に多いことがわかりました。

クラウドワークス社のデータベース（2017年8月分）、28,896件の発注文書の件名を対象に、カッコ類の使用頻度と割合を調査しました。

【急募！簡単データ収集作業】
【女性限定】
【採用されれば報酬500円以上】
【テレビ視聴者限定！】
【1案件10、750円～/安定収入】
【1記事120円】
【簡単スマホ可】
【ドラマ好きの方】
【初心者歓迎！】
【スキル不要！】

図1 偶付カッコの共起ネットワークと実例

偶付カッコ【】でくくられる表現

- ・【経験者限定】のようなワーカーの属性
- ・【データ収集作業】のような仕事の内容
- ・【800文字以上200円】のような分量の指定

→特に知らせたい内容を書いている

丸カッコ（パーレン）でくくられる表現

- ・（500文字以上）や（800～1000文字）のような分量の指定
- ・（5分程度）のような作業にかかる時間
- ・（1記事648円）のような単価

→ 基本的には数字が多く出現

（14記事×1500文字）
（500文字以上）
（100文字～）
（800～1000文字）
（女性希望）
（100文字×30曲）
（400文字程度）
（自由記入200文字）
（手数料込）
（1記事432円・1200文字）

図2 丸カッコ（パーレン）の共起ネットワークと実例

💡 カッコはその形によって、くくられやすい内容が異なる。

- まとめると、
- ・偶付カッコは、くくった内容を【目立たせるため】のカッコ。
 - ・丸カッコ（パーレン）は、本文を【補足するため】のカッコ。

そのほかのカッコについて知りたい方は、以下の参考文献を読んでみてください。

